



命を救う。命をつなぐ。
CHIKAMORI
HEALTHCARE GROUP
近森病院

近森病院からの ホットライン

2024.3 Vol.241

発行：近森病院地域医療連携センター



最新技術を駆使する 高度不整脈治療



不整脈チームの紹介

不整脈センター

センター長 **三戸 森見**

(循環器内科部長) 1999年 広島大学卒業

当院では、ますます高度化する不整脈診療に対応するため2023年3月より「不整脈センター」を設置し、チーム医療を展開しています。医師だけではなく、臨床工学技士や臨床検査技師、看護師などの不整脈診療に関わるスタッフを充実させ、それぞれが専門分野での技術力向上や人材育成に取り組んでいます。チーム全員が各々の能力を発揮し、幸せに働ける環境を築いていくことが最重要と考えております。



臨床検査部
技師長

近澤 香奈

臨床検査技師は12誘導心電図や心内心電図の記録・解析を行い、適切な診断が行えるようサポートしています。現在では、担当スタッフも育ち、多職種との連携も更に強化され、チーム全体が活気にあふれています。これからも、個々の強みを活かし、チームに貢献できるよう、活躍していきたいと思っています。



臨床工学部
CSチーム

西村 有司

臨床工学技士は3Dマッピング装置を操作しながら医師と不整脈の起源を焼く治療を行っています。アブレーション業務はメディカルスタッフが治療に大きく介入できる分野であり、とてもやりがいをもって業務を行っています。またみんなが積極的に勉強会に参加し、知識や技術の向上に努め、よりよい治療の為に頑張っています。



患者紹介 WEB 予約システム ぜひご活用ください。

お問合せは 地域医療連携センターへ 088-822-5231 (代)

県内外の若手医師を育成



新里医師が当センターへ
研修に来ていただきました
佐賀大学 左：新里 医師 右：山口 准教授

当センターでは常に最良の治療を目指しており、まだ一般的ではない新しい治療法にも積極的に取り組んでおります。当科の若手医師の育成だけでなく、当センターで確立した手技においては、積極的に医師を全国から当院へお招きして技術を広める活動を行って参りました。

その甲斐もあり、県外から技術習得のため当センターへ研修にきてくださる医師もおられます。ますます少子高齢化が進む高知県の医療を支えるには、これまで以上に若い力が必要です。今後も県外との交流を保ち、県内外の若手医師を育成することが社会貢献に繋がるものと考えております。



より安全な呼吸管理ができるように

カテーテルアブレーションは全身麻酔を実施すると患者さんが痛みを感じることもなく、楽に治療が行えます。「i-gel（全身麻酔時の気道確保デバイス）」を使用した呼吸管理により呼吸が不安定になることがなく、安全で確実な手技を行うことができます。

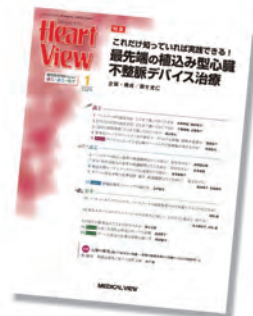
執筆しました！



2024年1月号
定価 3,300円

10 Expertise

「刺激伝導系ペーシングの施行法」



HeartLight X3

「当院での
HeartLightX3の
使用法と短期成績

～術時間を短縮する
ための工夫～」

同封しておりますので
どうぞ一読ください。



これまでの実績とこれからの治療

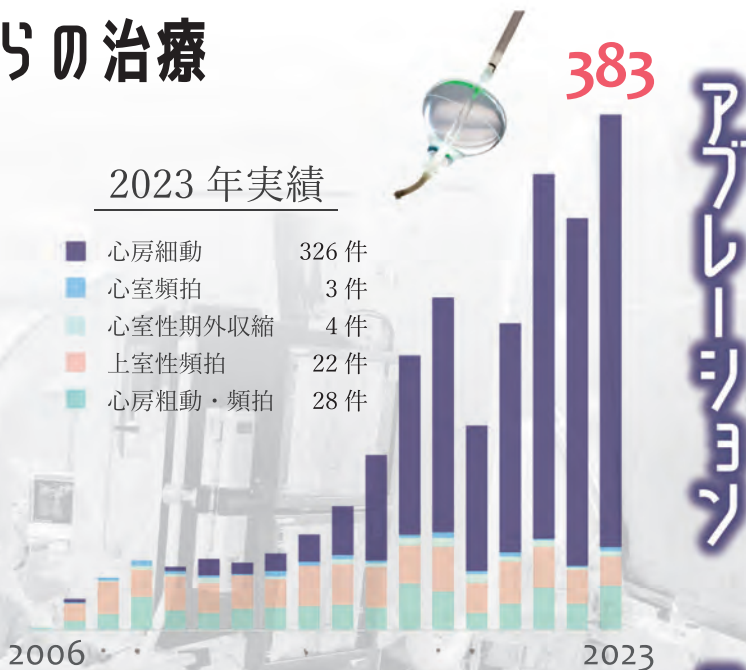
2022年にはカテーテル室をリニューアルし、最新の設備で不整脈に対するアブレーションやデバイス植込みの手術を行っています。例えばレーザーアブレーションシステムを導入することで、より迅速で安全な心房細動アブレーションが行えるようになりました。

デバイス治療では刺激伝導系ペーシングを全国に先駆けて行っており、全国でも有数の症例数です。さらに、高度化しているデバイス治療に対応するため、昨年よりデバイス外来を立ち上げて、遠隔モニタリングをはじめ様々な専門知識を要する業務を各専門スタッフが担当しています。

不整脈治療の医療機器はますます進化しており、2024年度には新たなアブレーション治療法を導入することが予定されています。今後もいち早く新しい治療に取り組んでいきたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

2023年実績

■ 心房細動	326件
■ 心室頻拍	3件
■ 心室性期外収縮	4件
■ 上室性頻拍	22件
■ 心房粗動・頻拍	28件



2023年実績

ペースメーカー
埋込総数 255件

